

# 2021年度 自己評価表

ケイセンビジネス公務員カレッジ

1. 教育目標
  - (1) 人づくりを通じて社会に貢献する
  - (2) 学生の夢を実現させる
  - (3) 社会に有用な人材を育成する
  
2. 基本方針
  - (1) 学生・生徒の可能性を最大限に引き出し、学生・生徒の夢を実現する学校を目指します
  - (2) 学生・生徒と共に、職員も成長しながら生き生きと働ける学校を目指します
  - (3) 地域に愛され、なくてはならない学校を目指します
  
3. 今年度の重点目標
  - (1) 公務員合格率の向上
  - (2) 就職内定率の向上
  - (3) 検定試験合格率の向上
  - (4) 本物のビジネスパーソン、本物の公務員を育てる
  - (5) 競技大会の優勝に向けた準備
  - (6) 入試広報部と連携した入学者の確保
  - (7) 郡山学院専修学校との連携
  - (8) 新型コロナウイルス感染症に対応した学校教育活動

4. 評価項目の達成、取り組み状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・育成人材像は定められるか	4・3・2・1
学校における職業教育の特色は理解されているか	4・3・2・1
社会経済のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか	4・3・2・1

(評価: 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切) 以下同様

(ア) 課題

今後学生が必要とされるように社会経済のニーズを踏まえた資格を将来的に取得できるよう情報収集や教員育成等に努める。

(イ) 改善方策

内部での資格情報の収集と教育課程編成委員等による外部からの情報収集を踏まえ、検討する。

(2) 学校運営

評価項目	評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・3・2・1
運営組織や意思決定機関は、規則等で明確化されているか	4・3・2・1
人事・給与に関する規定等は整備されているか	4・3・2・1
地域社会や企業との信頼関係が醸成されているか	4・3・2・1
情報システム化等業務の効率化が図られているか	4・3・2・1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4・3・2・1

(ア) 課題

情報環境は整いつつあるが、Wi-Fi 環境の整備は必要。今後はネットワーク環境の効率化とその活用に重点を置く。

(イ) 改善方策

授業内や事務業務等への PC や Ipad を利用した活用方法を考案、実施していく。

(3) 教育活動

評価項目	評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4・3・2・1
育成人材像を踏まえた修業年限に対応した時間は確保されているか	4・3・2・1
実践的な職業教育の視点に立ったキャリア教育がなされているか	4・3・2・1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4・3・2・1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの体系的な位置づけは明確か	4・3・2・1
人材育成目標の達成に向けた授業を行う教員は確保されているか	4・3・2・1
関連分野との連携において、優れた教員の確保が図られているか	4・3・2・1
教職員の能力開発のための研修が行われているか	4・3・2・1

(ア) 課題

今後は、様々な学生との対応が必要となってくるため、コーチング等の研修を積極的に行う必要がある。

(イ) 改善方策

コーチング等の研修の機会を失わないよう、様々な情報を集め教職員に周知する。

#### (4) 学習成果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4・ <u>3</u> ・2・1
資格取得率の向上が図られているか	4・ <u>3</u> ・2・1
退学率の低減が図られているか	<u>4</u> ・3・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・ <u>3</u> ・2・1

##### (ア) 課題

公務員内定率及び就職率向上に向けて、近年のコロナウィルス感染予防対策のため、宿泊を伴わない研修やオンラインでのガイダンス等を実施している。公務員内定率の向上と早期離職者の防止に力を注ぎ、学生一人一人の希望を把握する。また、企業情報の綿密な収集・情報提供を行っていく。

##### (イ) 改善方策

今まで以上にきめ細やかな情報収集・情報提供・就職支援はもとより、今後の社会情勢を把握し、時代に合った就職支援や検定科目を選択する。公務員試験対策・内定率向上を目的として、試験範囲や出題傾向の分析を更に強化し指導体制の整備を行う。また、学生に対して早期の意識向上を図り、専門教育のみならず日々の授業の中でキャリア教育を更に充実させ、社会人基礎力を育む活動を通して、主体的に学習・就職活動を行うことができる学生を育成する。

(5) 学生支援

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4・3・2・1
学生相談に関する体制は整備されているか	4・3・2・1
学生に対する経済的支援体制は整備されているか	4・3・2・1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4・3・2・1
高校・高等専修学校との連携による職業教育の取り組みが行われているか	4・3・2・1
保護者と適切に連携しているか	4・3・2・1
卒業生への支援体制はあるか	4・3・2・1

(ア) 課題

特に問題はない。

(イ) 改善方策

特になし。

(6) 教育環境

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4・3・2・1
防災に対する体制は整備されているか	4・3・2・1

(ア) 課題

非常階段の整備が必要。

(イ) 改善方策

来年度中の整備を予定している。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
学生募集は適切に行われているか	4・3・2・1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか	4・3・2・1

(ア) 課題

入学者数の減少が課題。年々減少する学生数の確保するために以下が課題として挙げられる。

主な減少理由として、高校生の公務員試験 1 次試験不合格者の多数が就職を希望する方へ変更したため。

(イ) 改善方策

制度の見直しとして、特待生制度を公務員試験経験者に優遇した枠を検討

入試の見直しとして、1 次試験不合格者を確保するため指定校推薦を検討

(8) 財務状況

評価項目	評価
中長期的に学校の財務状況は安定しているか	4・ <u>3</u> ・2・1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	<u>4</u> ・3・2・1
財務について会計監査が適切に行われているか	<u>4</u> ・3・2・1
財務情報公開の体制整備は出来ているか	<u>4</u> ・3・2・1

(ア) 課題

財務管理状況は適正に行われ、学校運営がなされている。財務について会計監査が適正に行われていることから課題は特にな  
い。今後、郡山学院高等専修学校の建設費がかかるので、計画的な財務運営が求められる。

(イ) 改善方策

専門学校への進学減少等が予想され収益環境も更に今後厳しくなる事が予測されるため、財政基盤を中長期的に安定に努  
める。固定費の削減・経費節約に努めるとともに、教育の質の低下をさせないように学校全体で意識を高め、より一層の取り組みを  
する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4・3・2・1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4・3・2・1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4・3・2・1
自己評価結果を公開しているか	4・3・2・1

(ア) 課題

特に問題ない。

(イ) 改善方策

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4・3・2・1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4・3・2・1
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4・3・2・1

(ア) 課題

地域に対する公開講座については、今後検討する必要がある。

(イ) 改善方策

地域に対して、学校側から何が提供できるかを確認し、講座の開催に努める。



## 5. 総合評価

令和4年度は、昨年につきコロナウィルス感染症の対策を始めとしたところからスタートした。対策を進めていき、校内感染は0名を達成した。しかし、学校内での学生指導や入学者確保に繋げる部分に不十分なところが少なからずあったことが、入学者減に繋がってしまったことが考えられる。次年度は、コロナウィルス感染症の対策を万全にしながらも、入学者獲得に向けた対策も平行して行っていきたい。また、学生への指導や合格実績、人材の育成等解決すべき課題はあるが、教職員が協力して問題解決にあたっていく。